

【 増えるイートインスペース 】 ～その使われ方とは～ 【ナビット】



《アンケート調査》

スーパーやコンビニで買った食品を、店内で食べることができる「イートインスペース」(Eat-in space)が増えています。

「イートイン」はハンバーガーなどのファーストフード店で、買ったものを持ち帰る「テイクアウト」に対して使われ始めた言葉ですが、持ち帰りが普通だったコンビニなどに数人が座って飲食できるコーナーが設置されるようになって、よく耳にするようになりました。

アメリカのファーストフード店で「For here or to go?」（ここで食べますか？それとも持ち帰りですか？）と聞かれて「面食らった」という経験談を聞くことができますが、海外在住の知人の話では「Eat-in space」という言葉は「あまり聞かない」とのこと。日本独特の表現かもしれません。

最近では、全店にイートインスペースを設けて、それを売りにするコンビニもあり、Webサイトで「イートインスペースがあるか」を検索することもできるようになりました。そこで、ナビット独自のアンケートで、全国の主婦を中心とした1,151人のモニター会員を対象に、「イートインスペース」について調査しました。

驚愕の調査結果はこちらから ([2022年3月2日](#) 更新)

<https://www.navit-j.com/media/?p=71130>

- 会社名 株式会社ナビット
- 代表者 代表取締役 福井泰代
- 設立 [2001年1月](#)
- 所在地 [東京都千代田区九段南1-5-5](#) 九段サウスサイドスクエア8F
- TEL 03-5215-5713
- FAX 03-5215-5702
- URL <https://www.navit-j.com/>

リリース元：【ナビット】

Generated by ふれりりプレスリリース
<https://www.prerele.com>